【国指定・天然記念物】

たねがしまくにがみみなとがわ　　あだけがわ　　りん
種子島国上湊川・阿嶽川のマングローブ林

（平成 27 年 10 月 7 日指定，令和４年 11 月 10 日追加指定・名称変更）

国上湊川のマングローブ林
（西之表市教育委員会提供）

阿嶽川のマングローブ林
（中種子町教育委員会提供）

○　**所在地**　　熊毛郡中種子町大字坂井池之角
　　西之表市国上字内之湊，河角，路芝田

○　**所有者**　　国，個人

○　**特　徴**

マングローブ林は熱帯から亜熱帯の汽水域に分布する森林で，特異な形態と生活様式をもった植物群落である。マングローブ林は熱帯・亜熱帯の暖かい地域に分布し，日本では鹿児島県と沖縄県の一部の汽水域に分布しており，アジア地域における自然分布の北限は種子島といわれている。マングローブ林を構成する樹木は世界で１００種程度あるが，日本では５種だけである。北限域となる種子島では，低温耐性の強いメヒルギのみが島の東側に位置する６河川で生育する。マングローブ林の高さは河川の中央部に近い部分では低く１～１．５ｍ程度，辺縁部は４ｍ前後である。地形的に低く周辺から強風があたる地域では，メヒルギの伸長生長が悪く，１個体の占める面積を広げる独特の樹形を呈している。その中で，阿嶽川のマングローブ林は生育面積も比較的広く，良好な生育環境が残されている。北限域で，独特の樹形を呈するマングローブ林が良好に残されている地域として価値が高い。

令和４年 11 月 10 日に種子島の北部にある湊川の群落が追加指定され，名称が「種子島阿嶽川のマングローブ林」から「種子島国上湊川・阿嶽川のマングローブ林」に変更された。